

退職年金裁定請求書

厚生年金基金 退職年金裁定請求書

ここに②と
同じ印を押して
ください。

御中 平成 年 月 日提出

①氏名 (姓) (名) ④印鑑 ③男 ⑤生 ⑥明 ⑦治
別 女 日 組 和

⑤住所 電話 ()

⑧加入員証の番号 ⑨入社 昭和 年 月 日 入社
年月日 平成 年 月 日

⑩現在加入員 1.現在も加入員である。 ⑩資格喪失 〔退職のときは「退職日の翌日」
2.資格を喪失した。 年月日 平成 年 月 日 (年齢) 70歳到達のときは「退職日の前日」
を記入してください。〕

⑪希望する 1.銀行等の口座振込(本人名義)の振込口座を指定してください。 (支店名) (口座番号) 本店 (支店名)
送金先 支店 支店 口座振込
2.ゆうちょ口座振込(番号振込)本人名義の口座を指定してください。郵便局は不要です。
記号・番号

⑫老齢厚生年金、特別支給の老齢 1.受けている。 ⑫事業所(会社)等から退職手当の支給 1.受けた。
厚生年金を受けていますか。 2.受けていない。 2.受けていない。
3.裁定請求中。 請求年月日 平成 年 月 日

⑬加算部分給付金 加算部分給付金につき次 1.年金として受取る。 ⑭事業所(会社)等から退職手当の支給 1.受けた。
の選択 のうちいずれかを希望しま 2.選択一時金として受取る。(一部) 2.受けていない。
す。 3.選択一時金として受取る。

⑮後払いされている (名、称) 連絡 ⑯職歴
付加給付している) 先 後
事業所(会社)名 (所在地) 番号

⑯職歴	事業所名	事業所所在地	期 間	加入している 当該年金の種類
1			年 月 日 ~ 年 月 日	
2			年 月 日 ~ 年 月 日	
3			年 月 日 ~ 年 月 日	
4			年 月 日 ~ 年 月 日	

〔添付書類〕
1. 厚生年金基金加入記録
2. 本年月日に関する市区町村長の証明書又は戸籍簿写
3. 老齢厚生年金、特別支給の老齢厚生年金を受けておられるときは、その年金証書(写)
4. 年金を受取るの方は、さらに次の書類も添付してください。
- 個人番号通知書
- 本人確認書類 (本人確認書類の詳細については、個人番号届をご確認ください。)
5. 選択一時金又は、選択一時金を受取るの方は、さらに次の書類も添付してください。
- 退職一時金に関する集約
- 退職一時金の受給に関する申告書(4枚目)
- 本人確認書類 (本人確認書類の詳細については、退職一時金の受給に関する申告書
(3枚目)をご確認ください。)
- 退職一時金の受給取扱票(会社等から退職手当の支給を受けているとき)
(一時所得に該当する場合は)
- 個人番号通知書
- 本人確認書類 (本人確認書類の詳細については、個人番号届をご確認ください。)
6. 今年から新たに年金を受取ることできる方のみ、年金額が100万円(超過した上
の方については別添付用紙)以上である方は、遺言の添付書類も基金にご提出ください。
(書き方については、裏面をご覧ください。)

基金 額

受付日付印

用紙04877-43(第)4×25(4-2) 2015.10 TP

⑥<加入員証の番号>
加入員証の番号をCDを含め
右詰めでご記入ください。
前ゼロは省略できます。

⑨<現在加入員ですか。>
脱退により受給権が発生したことによる
請求の場合には、「2.資格を喪失した。」
に○を付して資格喪失日(=退職日の翌日)
を記入してください。

⑪<希望する送金先>
請求者ご本人名義の口座を
ご指定ください。

⑬<加算部分給付金の選択>
第1種退職年金の請求者は1、2のいずれかに
番号を付し、「2.選択一時金として受取る。」に
○を付したときには、選択割合(20、50、80、100)
のいずれかを記載してください。
第2種退職年金(脱退)の際には、
「3.脱退一時金として受取る。」に○を付してください。
在職老齢年金の請求および、すでに脱退一時金を受給
(請求)している者は、記入不要です。

②<印鑑>
浸透印はお受けすることができません。
請求者ご本人が自著した場合には、省略できます。

⑫<老齢厚生年金、特別支給の老齢厚生年金を
受けていますか。>
該当する番号に○を付してください。
在職老齢年金を請求する際には、先に年金事務所で
手続きを行ってください。

⑯<職歴>
ご記入不要です。